

隊員情報：橋本 英樹（農村振興局 農村政策部 農村計画課）、
東 翔太（国土政策局特別地域振興官付）、山倉 宏太（国土政策局総合計画課）

古平町の魅力ポイント

■ 面積 188.4km² ■ 人口 約2,700人 ■ 指定地域:半島・豪雪

■ 魅力あふれる“海の幸”！

古くから鯿漁やタラコを中心とした水産加工業などで栄えた“海のまち”であり、積丹地域最大の水産物流通拠点である古平漁港を有する。

■ 道内屈指の“釣り場”！

1年を通してほっけ、かれい、時期によってさくらます、ひらめ、するめいかを釣ることができる。

■ 大漁と海の安全を祈願！“天狗の火渡り”

朱色装束と天狗の面をした猿田彦が町内を周り、火の粉を蹴散らしながら炎の中を渡る伝統行事。

■ 源泉掛け流しの天然温泉！“ふるびら温泉しおかぜ”

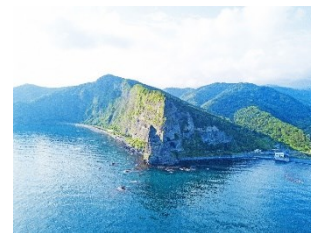
積丹ブルーの日本海を望むロケーションにあり、源泉掛け流しの天然温泉。濃厚な褐色湯は地元の方々に愛されている。



古平町の課題

■ 政策分野：観光振興

- 年間100万人以上の観光客が訪れる道内有数の観光地の「積丹町」や「余市町」に挟まれた立地ながらも、古平町への観光客はその1割にも満たない（年間10万人弱）
- 「通り過ぎる町」からの脱却を図るため、他の市町村との広域連携施策の検討や、古平町で盛んな海業の振興、現在閉鎖しているキャンプ場の活用により観光客の取込みを検討
- ふるさと納税を活用して、地域の水産資源（ほっけ、たらこ）の魅力を活かした地域振興を推進



応援隊の活動報告

これまでの活動

- 担当者と隊員でオンラインの打合せを実施し、令和7年4月に正式オープンする道の駅（～道の駅ふるびらたらこミュージアム～）の戦略と課題について意見交換
- 古平町への誘客促進の観点から、地域で祭りを起こすことを検討。
他地域で創設された祭りの事例を収集し、意見交換



今後の方針

- 観光客の誘致を促すため、道の駅周辺の道路・駐車場等の交通事情の改善や、特産品である「たらこ」について、食やアート、学習等の多様な観点から魅力を発信
- 町の魅力を発信するため、道の駅以外の方法でも町おこしする方法を模索

